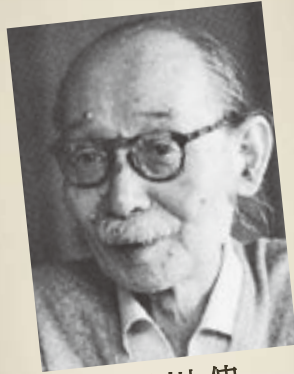


日本の近代戯曲を読む!

◎日本の近代戯曲研修セミナー

今もなお幅広い人気を誇り、舞台、小説、映画、ラジオと大正から昭和を代表する作家・長谷川伸は、近代日本を捉え直すときに忘れてはならない人々の存在を思い起こさせる。急速に変化する時代状況と対峙しつつ描いた世界は、近代と前近代という二項対立から抜け出て現れているのではないだろうか。

没後半世紀が経とうとする今でも多くの影響を与え続ける長谷川伸戯曲を「読み」かつ「語る」二日間。私たちはもう一つの近代をそこに見つけることになるだろう。



長谷川伸
Shin Hasegawa (1884~1963)

小説家、劇作家。本名、伸二郎。神奈川県横浜市日ノ出町の土木業の家に生れる。貧窮のため、幼少より横浜ドックなどで働く。土木作業工、女形のスリと知り合い、のちの庶民の人情に融れた作品に影響を与える。英字新聞の臨時記者を経て20歳で都新聞記者となる。山野芋作などの筆名で30歳から小説家として、『横浜音頭』をはじめサンデー毎日、週刊朝日などで大衆小説を多数発表。菊池寛のすすめで発表した『作手伝五左衛門』が出世作となる。大正11年(1922)以降は長谷川伸と名乗り40代からは、劇作家に転じ、新国劇の沢田正二郎によって帝国劇で上演された『香掛時次郎』が好評とよって帝国劇で上演された『刺青奇偶』などの作品により『一本刀土俵入』『刺青奇偶』などの作品により“股旅物”という言葉が生まれた。代表作『臉の母』主題となる幼少期から別れて暮らした、母との再会を果たしたのは、40代後半である。映画作品も多数執筆し朝日新聞連載の『赤蝙蝠』などがある。『一本刀土俵入』を尾上菊五郎が上演し始め歌舞伎界にも影響を与えた。晩年は、ラジオドラマ作品や、『日本敵討ち異相』『日本捕虜志』等の史伝にうちこんだ。他に大衆文芸を振興する二十一日会の結成。江戸川乱歩らと耽綺社を設立。昭和8年には二十六日会を結成、大衆文芸や演劇の向上を目的とした活動。昭和38年79歳で死去。没後、遺言により蔵書をもとに財団法人新鷹会が設置され、昭和41年には長谷川伸賞が制定された。

歌舞伎とオペレッタの演出家 寺崎裕則 (てらさきひろのり)

1958年文学座入座。三島由紀夫氏を師にNLT、浪漫劇場を創立。1960年10月歌舞伎座で『シラノ・ド・ベルジュラック』の演出補の時“昭和の黙阿彌”宇野信夫氏と出会い、師事、新歌舞伎の演出に今日迄五十一年間携わっている。その間、1974年文化庁在外研修員として旧東独コーミッシェ・オーパーで演出家W・フェルゼンシュタイン氏に師事、師の死により最後の弟子となり1977年、日本オペレッタ協会を創立、日本の土にオペレッタの本来あるべき姿、その本質を見据え、歌舞伎と同様、保存芸術に留めることなく、創造力あふれる同時代のオペレッタに創り変え、歌舞伎の様式ではなく、その抛ってきたエッセンスを隠し味にし、“伝統芸術の同時代化”と“東西音楽劇の融合”をはかり、日本の文化の“顔”を持つオペレッタを三十四年間創造。新歌舞伎では宇野信夫、長谷川伸、岡本綺堂、眞山青果、池波正太郎作品などの演出を多数つとめる。

“長谷川伸作品について” 福田善之 (ふくだよしゆき)

小学生のとき、『一本刀土俵入』を見ました。六代目菊五郎の駒形茂兵衛、お薫には彼の懇望で喜多村緑郎。新宿第一劇場で『臉の母』を寿海になる直前の寿美蔵で見たときは中学生。一ずっと飛んで1970年代、いわゆるく大衆演劇の源流に興味を持ち、その大きな流れの一つが、長谷川伸作品群だと知って、いわば内発的に再会。演出者として、いくつかの名作に挑戦、かつ破れ去りました。『刺青奇偶』は、諸名作の特色を凝集したような趣で、今度読み返して、台詞に世話物のリズムを感じました。長谷川氏が実母に再会する前年の作です。さて、僕の今年の仕事は、博多座で勘太郎・七之助兄弟たちの芝居や、こんにやく座のオペラ『ねこのくにのおきさま』(巡演中)、Pカンパニー『夢、ハムレットの～陽炎篇』(吉祥寺シアター)など。日本演出者協会前理事長。劇作家協会顧問。桐朋短大演劇科客員教授。

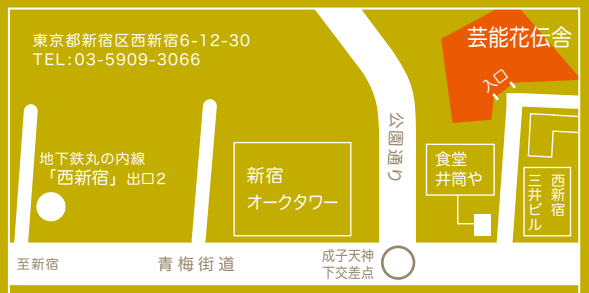
<お申込み方法> ※あらかじめご予約ください。

- ◎申込用紙に必要事項をご記入の上、FAXまたは 郵送にてお申し込み下さい。
- ◎メールでご予約の際は、件名を「チケット予約」とし、本文に「お名前・枚数・ご連絡先」をご明記の上お申し込みください。予約完了メールが届いた時点で予約完了となります。

<お申込み・お問合せ先>

日本演出者協会 担当:佐々木/斉藤
〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-12-30 芸能花伝舎3F
TEL: 03-5909-3074 FAX: 03-5909-3075 携帯: 090-6162-1710
専用メールアドレス: kindaigikyoku@yahoo.co.jp
※受付開始、開場は開演の40分前です。
※受付は開演の10分前までにお済ませください。10分前を過ぎますとご予約を頂いてもお席をご用意できない場合があります。

芸能花伝舎 ◎東京メトロ丸の内線「西新宿」出口2より徒歩7分



参加申込み票

氏名 フリガナ	性別	チケット枚数	9/25シンポジウム
	男・女	9/24(土) 枚	9/25(日) 枚
ご住所 〒			枚
電話		FAX	